



北農タイムス

令和8年度 学校スローガン「一瞬懸命」
～目の前の一瞬一瞬に全力で向き合い、取り組んでいこう～

令和8年度
6・7月号

長崎県立北松農業高校
発行責任者 校長 内川昌彦
〒859-4824
平戸市田平町小手田免 54-1
電話 0950-57-0511

Instagramでも様々な情報を発信中！
ぜひご覧ください！

Instagram



農業高校生の甲子園！ 農業クラブ県大会 ～平板測量競技チームが最優秀賞に輝く～

6月23日に行われた長崎県学校農業クラブ年次大会に、本校からも46名の生徒が学校を代表して出場しました。県内の農業関係高等学校5校の生徒が日頃の研究成果や意見を発表し、授業や実習等で身に付けた技術を競い合います。

今年度の北松農業高等学校の競技結果は下の表のとおりでした。最優秀賞を獲得した平板測量競技チームは10月に徳島県吉野川市で行われる全国大会への出場権を得ています。

なお、7月29日には農業鑑定競技(※1)の県大会も開催され、本校から20名が出場します。



最優秀賞受賞の平板測量チーム（大村城南高校にて）

プロジェクト 研究発表	文旦「紅まどか」を利用した新商品開発への取り組み	
	3年生 高尾 美心 八木原 理央 小川 雄大 野上 亜澄 1年生 井元 寧々 岡本 華歩 辻 也美 花田 祥加	優秀賞(第2位)
意見発表	空き家問題から考える平戸の地域資源	
	2年生 久家 佑奈	優秀賞(第2位)
平板測量競技A	3年生 山本 美南 前田 陽菜乃 皆川 龍統 1年生 久住呂 悠生	最優秀賞 長崎県知事賞 長崎県教育長賞
平板測量競技B	2年生 村井 心美 日高 葵愛 山野 琉菜 山口 陽菜	優秀賞(第2位)

キヒラト 黄平戸ユリ 今年も開花

1960年代まで中津良地区で栽培されていた地元の固有種「黄平戸ユリ」ですが、ウイルス性の病気で絶滅したとみられていました。その後の再調査で市内に3株の存在が確認され、2001年から平戸市の依頼を受け、本校のバイオ技術を駆使して種の保存と増殖に取り組んでいます。今年も6月下旬に色鮮やかな花が咲きました。

この地道な活動が認められ、本校は2019年に環境大臣から表彰を受けています。



北農の玄関で展示中のキヒラトユリ（令和8年6月30日撮影）

第78回長崎県高等学校総合体育大会 北農勢躍動 ～第1回長崎県高校女子相撲選手権も同時開催～

6月5日から30競技9,628人の高校生が熱戦を繰り広げました。本校からは陸上競技、ソフトテニス、卓球、相撲、弓道に35名の選手が出場し、相撲が団体準優勝、個人は3年生の薄本翔平が階級別準優勝など4選手が入賞し、九州総体（宮崎）、インターハイ（和歌山）への出場権を得ました。また、ソフトテニス男女とも団体と個人で2回戦、卓球も団体2回戦へ進出するなど、昨年を上回る成果を挙げました。

第1回長崎県高校女子相撲選手権大会では団体戦準優勝、個人戦でも1年生の佐々木咲礼が準優勝、1年生の薄本末歩が第3位に入賞し、6月21日に唐津市で行われた九州大会でも佐々木が準優勝、薄本と2年生の津上るかがベスト8入りするなど大活躍でした。

ご声援誠にありがとうございました。今後も北農勢への応援をよろしくお願いします！



高総体相撲競技男子団体のメンバー（県立諫早農高相撲場）



九州選手権相撲競技の女子メンバー（唐津市体育の森公園）

なかま 北農のかawaii動物を紹介♡

☆なまえ ゆず（品種 柴犬・年齢 2歳）

人懐っこい性格の女の子で本校の人気者です。普段は生物生産科の生徒や動物科学部の生徒達と一緒に実習していますが、近くの小学生など、子どもたちが「動物ふれあい体験」に来てくれた時も、ほかの動物たちと大活躍してくれています。

ゆずの他にも北松農業高校ではポニー、ヤギ、ヒツジ、ウサギ、モルモット、ハムスター、カメ、珍しいチンチラなども生徒の学習に活用するために飼育しています。

これからも北農タイムスでどんどん紹介していきます！



北農公式
キャラクター
ほくのん



※1 農業鑑定競技：農業の専門知識をフル活用し1問20秒で40の問題に挑戦し、正確さを競い合う競技です。

ひらん 飛鸞×北農 バスクチーズケーキ & スノーボールを開発 食品流通科の生徒が森酒造場の蔵開きで発売！

平戸市の森酒造場とのコラボ企画として、桃色の酒粕を使ったお菓子の開発に挑戦しています。

生徒開発のコラボ商品「飛鸞×北農 バスクチーズケーキ」と「飛鸞×北農 スノーボール」は森酒造場の蔵開きで発売され、定番のジャム類、鳥みそ、北農茶やパウンドケーキ、フィナンシェ等と共に多くのお客様に買っていただき、今後の研究開発に活かす情報を得るため、アンケート調査へも協力していただきました。

県内外から多くのお客様が訪れる中、経験が少ない1年生も始めは緊張気味でしたが、先輩や先生方のアドバイスで、楽しくイキイキと実習ができました。今後も様々な機会に経験を積み、地域の中で学習を深めたいと考えています。



お客様に試食アンケートへの協力をお願いする1年生
(令和8年5月30日 平戸市の森酒造場にて)



笑顔で花苗を植栽する3年生
(令和8年6月1日 田平公園にて)

生物生産科の生徒が田平公園に花を植栽 実習で栽培した5,200本の苗が癒しの空間を演出

6月1日に生物生産科の草花を専攻している生徒7名が田平公園で花壇への植栽実習を行いました。今回は生徒が種をまき、水やりなどして育てたペコニア、パチュニア、サルビア、マリーゴールドの苗、計1,600本を公園の花壇へ丁寧に植栽しました。

平戸・田平公園管理事務所の方々には、本校の花苗を毎年春に合計5,200本、秋にも5,200本を公園内の花壇用に使っていただいています。今後も平戸に花による癒しを提供できるよう、栽培技術をしっかりと高めて参ります。



梶山先生の調理技術を真剣に見学する生徒



先生に作っていただいたお手本の料理
「ポーくひれ肉と野菜のロールソテー」

調理のプロから技術指導

生活科学科の生徒が本格フレンチを学ぶ

九州文化学園調理師専門学校のカベ山典克先生をお招きして、生活文化コースの生徒8名がホワイトソースを使った料理について学びました。

目の前のプロの技に生徒たちは初めから終わりまで魅了された様子で、時折メモを取りながら、多くのことを学ぶことができました。今回は時間が限られていたこともあり、先生の調理を見学することが中心でしたが、今後、自分たちが実際に調理実習する際のイメージは十分に膨らんだようで、これからの技術向上が大いに期待できそうです。

ホームページ



ホームページはこちらです。
ぜひご覧ください！



北農タイムス 6・7月号

長崎県立北松農業高等学校

〒859-4824 平戸市田平町小手田免 54-1



今年も田平町内の小学生との交流学习はじまる ～新企画「バケツ稲栽培」にも挑戦！～

今年も平戸市田平町内の小学生と本校の生徒の交流学习がスタートしました。6月11日に東小の2年生が本校の農場を訪れ、生物生産科3年生に教わりながらサツマイモの植え付けを体験しました。このサツマイモ栽培には地元のJA青年部の皆さんも協力してくださっており、9月にはツル返し、11月には収穫体験を実施する予定です。また、昨年は11月に田平南小学校1,2年生と生物生産科の生徒との動物交流学习も実施しました。

そして今年は新企画として6月18日から田平北小学校5年生58名と食品流通科3年生による米作り交流学习も開始しました。バケツに用土と水を入れ、それぞれの児童が自分だけの「田んぼ」をつくって、そこに「田植え」をしました。今後も収穫まで交流学习を継続します。



バケツ稲栽培に挑戦した北小5年生と本校の3年生
(令和8年6月18日 北松農業高校農場にて)



バケツ稲の生育状況 (令和8年7月9日)

6・7月に生まれた動物たちを紹介！

たかし 崇くん 令和8年6月7日生まれ 黒毛和種(肉用牛)の男の子 生時体重 37kg 父：姫晴久さん (肉用牛改良センターの雄牛) 母：にじほさん(北農の2歳牛)	まさひこ 昌彦くん 令和8年7月1日生まれ 黒毛和種(肉用牛)の男の子 生時体重 36kg 父：姫晴久さん (肉用牛改良センターの雄牛) 母：れんさん(北農の9歳牛)	ゆきこちゃん 令和8年7月8日生まれ 黒毛和種(肉用牛)の女の子 生時体重 32kg 父：姫晴久さん (肉用牛改良センターの雄牛) 母：かりんさん(北農の4歳牛)
--	---	--

事務室の先生と同じ名前だよ！

僕は校長先生と同じ名前

わたし、教頭先生と同じ名前です。

まめ知識：肉用牛(黒毛和種)の名前は、雌の子牛には「ひらがな」雄の子牛には「漢字」でつけるルールがあります。

よって、雌の子牛には「はなこ」と名づけますが、雄の子牛に「花子」と名づけることもできます。